

けやきの明日へ

大人も子どももここへ来ると暖かく迎えていただく嬉しさを感じています。何か行事があると忙しくても立ち寄りたくなります。

いつまでも、みんなに親しまれるコミセンであって下さい

10周年にも出席しましたがはるか昔のような気がします。30周年に向けての新たな出発の時でもあるかと思います。今後の発展をお祈りいたします
熊井第四中学校校長

楽しい思い出がたくさん詰まったけやきコミセンがこれからの10年20年みんなの力でさらに発展することを期待します。 菊池太郎

けやきが大好きです 俊介&はるか

地域の人との和がもっともっと広がっていきますように願っています。
郡司孝子

けやきのイベントはいつも素晴らしいと南町コミセンの人から聞いていました。今後も互いに手を取り合いつつも切磋琢磨しながらよりよい武蔵野のまちづくりを目指していきたいと思えます。 河田 南町コミセン代表

贈ることば

けやきまつり会場にて

はたちのけやきに

けやきに来ると何かホッとします。この活動に関わっている方々の熱意が伝わってきます。行事があると立ち寄りたくなります。

けやきの活動のマグマはすごい！一人ひとりがモクモクと役目を果たしている。日ごろの結束ある皆様に敬意を表します。

私は米寿、けやきは成人式 おめでとう！いよいよ大人になるんだね。長生きしていると、人生苦もあり楽もあり。私も100まで12年。一緒に波を乗り越えていこう！ 児玉 利彦

職場が近くなので昼食の場所として利用しています。そんな縁から身の上相談までさせていただき本当にお世話になっています。けやきの方々も建物も素晴らしく、当初から感心しています。今後も地域のコミセンとしての発展を祈っています。

地域の皆さんが自分たちの「まちづくり」に頑張っています。
星田 正

2009. 5. 17実施

けやきの明日を考える会

2009. 11. 4

14人参加

これからのけやきをみんなで考えようと運営委員で話し合っています。

しばらく20周年実行委員会へ移行していましたが、式典を前に、

いまこそ話し合うべきことと集まりを持ちました。(ランダムなまとめです)



- ・年齢を超えて付き合える場所。
- ・目標があってみんなでやっていくところ
- ・家にいるよりけやきにいるほうが多い日々
- ・カレンダーがけやきで埋まり、家族にボケなくていいねと言われている。
- ・会社人間だったがリタイアして7年、年齢に関係なく暖かく迎えてもらってうれしい。

けやきのどこがすき？ きらい？

- ・近所に知り合いが増えた
- ・まちの中で話ができる機会が出来た
- ・比較できないくらい色々なことを学んだ
- ・成長させてもらった
- ・自分のことがわかってきた
- ・出来ないことをみんながフォローしてくれるあたたかさが好き
- ・人をつなぐところ
- ・ボードレスなところが好き
- ・けやきに来るとたのしいから好き
- ・きらいなところはない

うれしかった思い出

コミセンでの結婚式で、ウエディングケーキを作らせてもらったのが、大変嬉しくて今のお菓子作りの自信になっている。

- ・みんなに助けられて祭りの委員長をやれた
- ・20年前の開館時も一枚岩ではなく、燃える人、対抗するひと、新参者でかき回す人、いろいろな人のパワーにあふれ楽しかった
- ・近所の方に何か手伝うことがあったら誘ってと声をかけられたのが嬉しかった

- ・たくさん頼まれると断れない性格なので大変になってしまうことがある。
- ・年々、体力的にこたえることがある
- ・いろいろ役をすることが回ってきてみんなで分担してやっているが、今自分は家の状況などとても厳しく大変なので、きついと感じている。
- ・若い人とくくられるが、学生さん以外で40才代前の運営委員が少ない。どうしたらつなげていけるのか。若い主婦層は手伝ってはくれるが一步踏み込めない。手伝うだけでなくやりたいことをやるのが楽しいことなのでそれをどう伝えていくのか、もっと考える必要がある
- ・なんでも言える雰囲気が、言いたい放題になってしまうこともあるように思う。
- ・昔は朝から晩までいられたが、今の人は仕事をしている。ここだけを生きがいにしらないのはよいことでもある。若い人に期待している。
- ・仕事をしながら22年けやきに関わってきた自分が、今の若い人に伝えられることがあるはず。全面的に関われなくても出来ることを精一杯する。無理をしない。とにかく長く続けることです。
- ・事務室で大声の個人的おしゃべりは気になる

・PTA の役員をしているときに誘われてここにきたので、そちらが主流の生活だったがみなさんあたたかく待ってくれたので今がある。

・若い力、新しい人が入りながらもけやきの心が継承されてる。柔軟な姿勢がよい

・コミセンから大変影響を受けた

・公園口からけやきの玄関まで、初めての人が一人で入ってくるのは勇気がいると思う。花を飾るとか、通路になにかお誘いするような工夫はないか。

・知らないパワーが町の中にはまだまだある。家からけやきに来るまで、けやきに関わっている人がまだ少ないことを思う。そういう人たちはけやきをどう感じているのかな。

10 年後のけやきに お願い！

・子育て中の人でもけやきに関わることでほっとできた人もいる。そういう人も受け入れられるようなけやきであってほしい

・一人でも気軽にちょっと寄れる場所になってほしい

・高齢者が増えているが 気軽に来れる場所であってほしい

・ジオラマのような居場所ができたらいいな

・若い人にとって居心地のいい場所になってほしい

・分館や3階ができて、大きくなったらいい

・平成生まれの方たちが活躍していることでしよう

・細かく役割分担があり、それはどんな小さな役でも一つ担っていればけやきに足を運ぶからだと聞き、素晴らしい仕組みだと思う。役に立っていることでけやきの一員という認識を



差し入れのお庭で取れたおみかん
ほったらかしで育ったそうですが、
なんとも新鮮で元気が出る甘酸っぱさ。
けやきの明日も笑顔一杯でいきましょう！

もてる。けやきで泊まろうという企画をしたとき、けやきができたとの頃は通らなかった企画だったが、若手が企画し、先輩と一緒にやって実施できた。先輩の人の姿勢がうれしかった

けやきへの思い♡

・カフェのような喫茶店をやりたい

・週末市場みたいなものも楽しい。

・10年後は考えられない。

一年一年少しでも長く関わりたいから健康第一

・年をとってけやきに来るのが大変になったとき、受け入れてくれる場所がなかったら寂しい。ここにあれば居場所があって仲間がいて、けやきの人がおどか声をかけられたら嬉しい

・もっと利用者と運営委員が協力してなにかできたらいいとおもう

・抱え込んでしまう性格、たくさんの手がさりげなく支えてくれる瞬間がたくさんあり、とてもうれしい

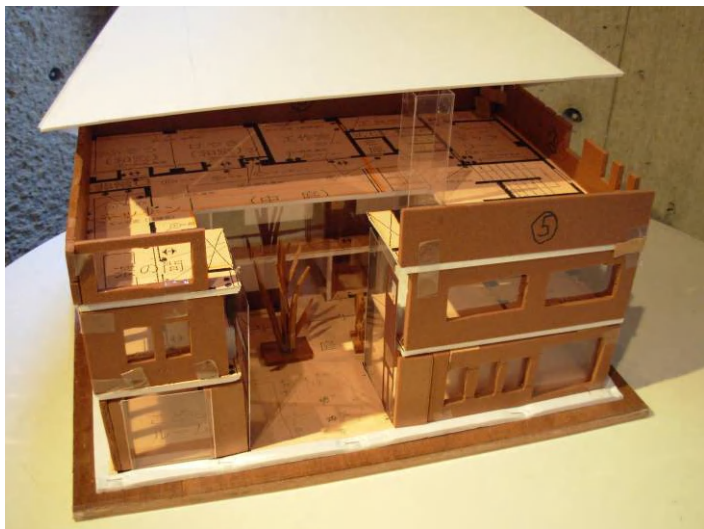
これからまちで必要なことは なんだろう？

・困ったことがあったとき、けやきにくれば誰かに相談できる安心感がある

・後期高齢者になり、自由だが体力的に無理なことも多くなり、何かをしないとけやきにいられないとなったら寂しい

・一人で籠もっている人がけやきで目覚めてくれたら嬉しい

・一年一年できることを見つけてやっていく
これだけの方たちが居心地よく寄っていれば、けやきは永遠不滅です



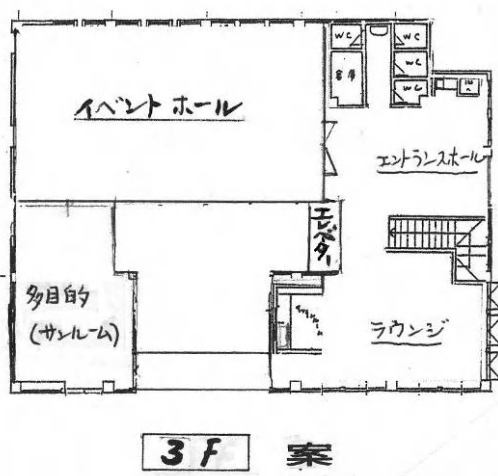
地域の拠点として、けやきコミセンは年々ふくらむ多くの活動の中で地域の皆様に親しまれたいと利用をいただいております。建築構造上中型館のけやきは、大勢の参加がある度に手狭な空間を工夫してその都度皆様をお迎えしております。

多目的に使えるイベントもできる広い空間の部屋があったらとの思いから、3階の増設を想定し、ジオラマを作ってみました。

3階部分は、各年齢層の方たちがだれでも落ち着いてゆっくりすごせるくつろぎの場、ゆとりの空間としての利用し、イベントホールにも変化のできる形にします。高齢の方などの利用を考えて中庭側にエレベーターを設置することにしました。屋根には太陽光発電装置による省エネ対策を考えます。

地域の中で、多くの人たちが気軽に立ち寄れる場所として、世代を超えてたくさんの顔見知りや友達が増える環境づくりをめざし、一同の思いを込めました。

実現に向けて皆様の英知とご協力を期待しております。



地域の皆様アンケート集計
(提出集 27 人)

年齢	
20歳代以下	
30代	5
40代	0
50代	6
60代	7
70代	5
80代以上	4

性別	
男性	7
女性	18
無記入	2

お住まい	
3丁目	9
4丁目	4
5丁目	14

居住年	
1年以下	1
5年以下	3
10年以下	3
15年以下	0
20年以下	2
25年以下	3
26年以上	15

【1】あなたにとってこのまち(地域)は住みよいところですか？

住みよい	22
どちらかと言えば住みよい	3
どちらでもない	1
どちらかと言えば住みづらい	0
住みづらい	0
回答なし	1

【2】このまちの良いところはどんなところだと思いますか？

閑静	17
縁が多い	24
活気がある	5
イベントが多い	5
近隣同士の交流が盛ん	2
お年寄りが元気だ	3
福祉が充実している	3
交通の便がいい	13
困ったとき手助けがある	1
アカデミックな雰囲気がある	4
公共施設が充実している	13
防災対策が充実している	1
犯罪が少なく安全	6
いい人が多い	6
子どもたちが活発だ	3
「けやきコミセン」がいい	13
(その他)シルバー人材の人ががんばっている	1

【4】あなたはけやきコミュニティセンターに来館したことがありますか？また、ある場合はどのくらいの頻度で来館されますか？

ほぼ毎日来館する	0
週1度くらい来館する	5
月1度くらい来館する	12
年に数回来館する	7
年に1回くらい来館する	3
今まで来館したことがない	0

【3】より住みよいまちにしていくために、この地域に望むことはありますか？

防災対策を充実して欲しい	4
緑がもっと増えて欲しい	5
ちょっとした手助けがほしい	5
交通の便がもっとよくなって欲しい	3
色々な人と出会うことができる場所が欲しい	5
高齢者に対する福祉を充実して欲しい	4
居場所や集まれる場所が欲しい	4
けやきコミセンがもっとリードして欲しい	3
困ったときの相談場所が欲しい	2
交通事故や犯罪などを防止する安全対策を充実して欲しい	5
もっとイベントが欲しい	1
自転車にマナーを守らせて欲しい	10
成蹊大学と提携し生涯教育に力を入れて欲しい	4
その他 満足2 特にない2	4

【5】けやきコミセンへのご要望があればおきかせください

(よいご意見)

- ・いつもありがとうございます。
- ・非常に満足しています。良い新年をお迎えてください。
- ・イベントの回数をふやしてほしい
- ・からだほぐしや、皆集合みたいのがあったらいいな。
- ・コミセンまつりには毎回参加。楽しみに来ますが、普段の日でも子連れ親子で参加できるイベントがあるとうれしいです。
- ・毎日開いているとうれしいです。

これまで通り頑張ってください。見守るだけですが応援しています。

(苦情)

- ・ゴミを住宅地側に捨てないよう来館の人たちに注意を促してください
- ・けやきの外で大声で話す声はこちらの建物にひびくことをお忘れなく。
- ・子どもの声は甲高いので仕方ないと思いますが年配の方たちの自覚がないようです。
- ・たまに学習室を利用させて頂きますが、時々近くを通る方(別の部屋を利用されている方?)の音が賑やかで気になることがあります。でも活気があるのがここのよいところだとも思っているのですさほどでもないのかな。

(その他)

- ・ムーバスの始発を早く、終バスを遅くしてほしい。

2008. 11～12月実施

* けやきニュースにはさみ地域に全戸配布し
コミセンに持参していただきました。

二十周年実行委員会から

今から二年前、ゆっくりと時間をかけて、けやきらしい二十周年を迎えたいと、少し早いが実行委員会が発足した。(委員長一富 副委員長一吉松・寺島) 毎月一回の定例会で話し合いを始め準備をしてきた。

先ずは、テーマが大切と議論の末、「新しい時代を拓くコミュニティ」に決定した。コミセンの管理運営は二十年近く、試行錯誤を繰り返しながら、常に全力を出し、明るく、楽しく、生き生きと取り組んできたと思っている。例えば、いろんなイベントでも実行委員会が中心となって動きながら当日はオールけやきで取り組むという、いい形での協力体制が安定し、どんなことでも話し合うという伝統的なけやきの手法も定着している。言ってみれば安定期と捕らえても良いかもしれない(多小の問題はあるが)。だからこそ、外に目を向けることや、今後のけやきを考えることが新しい時代を拓くための第一歩だと考えた。

「少し、新しい風を吹かせたい」「地域のたくさんの人を繋げたい」「外部組織の支援や改築によってけやきの将来考えたい」など、夢や希望を熱く語り、記念事業としてやらねばならぬこととは別に、やりたいことをやりたい人がやる、この指止まれ方式で次のチームが出来上がった。

① 記念誌チーム

「みどりの学びや」を中心にけやきのふるさと発見

② コンサートチーム

まちづくり局の「まちの美術館」を中心に、10月17日武蔵野市民文化会開館小ホールを満員で埋め尽くし、好評のうちに終わった「おしゃべりコンサート」の企画。

③ 改築プロジェクトチーム

夢いっぱいの将来のけやきの建物を立体的に製作。

④ 地域防災チーム

大野田地域の防災組織立ち上げに向け、「大野田福祉の会」や「緑町コミセン」と協力しながら地域の人を繋げ、来年1月に「大野田地域防災の会」が発足することとなった。

又、12月6日の記念祝賀会をどうするかも大きな課題であった。当日は運営委員全員でお客様をおもてなしし、明るく、元気で接待したい。そして、共に苦勞し、歩んでいる、協力員もいっしょに二十周年を祝いたいとの実行委員会の方針で、別の12月23日お世話になった地域の人にも声をかけ、20年を振り返りたいと計画が進んでいる。(12月23日大勢で祝うために、私達は2年間青空市に出店し資金稼ぎをした。)

平成元年けやきが誕生してから20年、自主という名の下、全くのボランティアで今日まで多くの人々が歩んできた。本当にすばらしいことであり、その一人として関わられたことを誇りに思う。二十周年実行委員会も皆さんの協力で進められたことに感謝したい。

寺島 芙美子

編集後記

窓に木々の緑がさわさわと揺れている。一人コーヒーを飲んでいる人がいる。お昼になるとはつらつとした学生たちが楽しげにお昼を食べている。ベビーカーを押したママさんたちが賑やかに入ってくる。体操をしている元気な声。電話がなり窓口当番の人も忙しく動き回っている。けやきコミセンには様々な人が集う。

20年。長いようなついこの間のような時の流れを感じながら、けやきの大事な心を伝えられる記念誌にしたいと願って編集をしました。

パソコンが市から支給される時、置く場所がないからと断ったことがあったようですが、いまやパソコンがフル稼働。ホームページを見てイベントに参加した人や、視察見学者も増えています。委員同士が携帯電話やメールでの打ち合わせをすることも多くなり、忙しい人が多い今、欠かせない手段。けれどもそれにより忙しさが増したり、伝えたいことが伝わっていなかったりすることもあります。本当に心と心が出会うには顔を合わせて話しをすることが、面倒なようでも確実なのだ実感します。

公園の木々が20年でたくましく生い茂り、木陰の穏やかな空間の元でイベントも賑やかです。運営委員はささやかでも自分の特技を活かしてみんなの笑顔のためにと力を発揮し、中には多種にわたる職人さんも誕生しています。

けやきコミセン新時代。大切なことはなんでしょう。まちのなかで一人ひとりが安心して心を開き、本音で話ができるつながりを見つけていけたらと思います。

合言葉は・・・けやきコミセンでお茶しましょう！

(中澤幸子)

*記念誌チーム

中澤幸子・村井智子・土田芳枝・安藤頌子・高田昭彦・長瀬道子
新井真紀・長谷川芳子・栗村真里
協力 吉松杉子・田中千恵子

発行 2009年12月6日
(平成21年)

編集 けやきコミュニティ協議会
20周年実行委員会記念誌チーム
武蔵野市吉祥寺北町5-6-19
電話 0422-54-8719

印刷 ワークセンターけやき